

令和5年度 研究計画

研究主題

ガッツ&スマイル

～練り合うから楽しい、練り合いから分かる学び～動く・つなぐ・比べる～

目指す子ども像と実態

- ① 見通しを持ち根拠を明らかにし、筋道を立てて考えながら学ぶ児童。
 - ② 互いの考えを比較検討し、練り合うことでよりよい方法を見つけ学びの自信を深める児童。
- 【児童実態】
- ・考えを深め合う経験スキルが不足している。
 - ・既習を生かして考えをつくりにくい。
 - ・納得いくまでチャレンジせずあきらめない。

研究仮説

- ① 練り合い場面で自分の考えを比較検討する力を身に付けることで、自らの課題を解決し、考えを深めることができるであろう。
- ② 特性に応じた運動を多く経験することを通して、意欲的に動き課題を解決しようと考え、対話し、運動の楽しさや喜びを味わうことができるだろう。
- ③ 必要性を持たせたり、振り返りを充実したりすることで、学級や学校における生づくりへの参画をめざすことができるであろう。

構想

課題発見・解決的な算数科の学習 ～ガッツで取り組みスマイルで終わる～

- ① 単元、各時間で指導要領をもとに本質的な目標を明確化。(=本時の目標)
- ② 授業研究は「練り合い」場面に焦点化。
- ③ 「指導と評価の一体化」、評価の在り方の見直し。
- ④ 児童が学びに自信を取り戻し、ねばり強く学習に取り組める個別の支援の準備

課題発見・解決的な体育科の学習

- ① 単元、各時間で指導要領をもとに本質的な目標を明確化。(=本時の目標)
- ② 学年実態に応じた運動の設定。運動量の確保。
- ③ 運動する中で、児童一人一人が課題や考えを持ちながら取り組める場の工夫。
- ④ 「指導と評価の一体化」、評価の在り方の見直し。

① 主体的・協働的に取り組む授業づくりを目指す特別活動

主体的・協働的に取り組む姿

- ① 課題の発見
- ② 解決方法の話合い
- ③ 解決方法の決定
- ④ 決めたことの実践
- ⑤ 振り返り

日常的な活動
道徳的実践場面

※ 年間や学期を通しての実践を繰り返し行いながら、個々の成長を認め合える姿、役割を果たしていく姿を評価し、価値づけていく。